

令和2年度補正 水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価結果

| | | | | |
|----------------|--|--|---|---------------------------------------|
| | | 長崎県水産部水産経営課 | | |
| 目的 | 小長井地区の冷凍保管施設整備により冷凍保管能力を強化して小長井産カキのブランド力向上のため、加工品を増産する。 併せて一定割合で発生する規格外（殻割れ、小型）のカキが生産規模拡大で増加することから、売れないものの加工商品化により収益性向上を目指す。 | | | |
| 目標 | ・冷凍保管施設整備による生産者収入の向上 | 1 | | |
| 事業実施主体 | 諫早湾漁業協同組合（小長井本所） | | | |
| 実施地区 | 諫早市小長井地区 | | | |
| 実施期間及び目標年度 | 実施期間 | 目標年度 | | |
| | 令和3年度～6年 | 令和6年度 | | |
| 助成金額 | 17,000千円（1/2補助） | | | |
| 事業計画の内容 | 冷凍保管施設の整備による加工品の増産 | | | |
| 評価 | 取組の目標（KPI） | ・漁協販売・個人販売を含む収入額●●●●千円の増 | | |
| | | 基準年（A） | （令和3年度時点） ●●●●●千円 | |
| | | 現状値（B） | （令和6年度末時点） ●●●●●千円（●●●●●千円の増） | 増加率 $【= (B-A) / A \times 100】$ 75% |
| | | 目標値（C） | （令和6年度末） ●●●●●千円 | 増加率 $【= (C-A) / A \times 100】$ 18% |
| | 成果目標 | ・冷凍保管施設の整備を通じて、漁業者の収入額の●●●●千円/年の向上を図る | | |
| | | 基準年 | （令和3年度時点） ●●●●●千円 | |
| | | 現状値（D） | （令和6年度末時点） ●●●●●千円（●●●●●千円増）対目標値【=D/E×100】106%（8%増） | |
| | | 目標値（E） | （令和6年度末） ●●●●●千円（●●●●●千円増） | |
| | （1）現状値の説明 | ・KPI算出根拠 →現状値（R6時点）●●●●●千円の根拠 …小長井地区のカキ養殖業者のうち小長井カキ養殖産地協議会24名分の収支金額（漁協が把握）の平均値に本事業の受益者38名分を掛けた金額 ※収支を把握できなかった漁業者の生産規模は、養殖産地協議会のメンバーと同等で、漁協への出荷量も養殖産地協議会メンバーと遜色ないことから、収支も同等と判断している。 ・令和6年度はカキの豊漁により規格内品の加工量が大きく増加。事業計画では買取量10tの予定としていたが、令和6年度実績は23tと計画に対して大きく増加しており、結果として成果目標達成に寄与している。 ※詳細は、別紙：成果目標にかかる根拠資料（事後評価用）を参照 | | |
| | （2）地域への経済効果（ハード事業のみ） | 冷凍保管施設が整備されたことにより冷凍保管能力が増加し、加工用カキの買取数量が増加。また、取扱数量の増加により漁協販売収益を買取価格に反映（●●●円/kg→●●●円/kg）したことで漁業者収入が増加。 | | |
| （3）所見 | カキの豊漁により規格内品の加工量が大きく増加し、漁協の業務量も規格内品の加工へシフトせざるを得ない状況となった。その結果、規格外品の加工用買取量は計画通りに増加させることが出来なかったが、カキ養殖生産者の収入は向上しており、成果目標は達成することが出来た。このように、豊漁時において規格内品の加工量の増加にも対応出来たのは、今回の施設整備で冷凍保管能力が強化されたためである。 | | | |
| （4）評価機関への意見等 | 意見等なし。 | | | |
| 今後の改善方向等に関する分析 | 当該地区の養殖カキの生産は不安定で、豊漁・不漁を繰り返しているが、令和6年度のような豊漁時においても冷凍保管能力が強化されたことにより、規格内品の加工量増加に対応することが出来た。引き続き、整備した冷凍保管施設を最大限活用し、加工用の規格内品・規格外品の養殖カキの買取を実施し、加工用として活用し、買い支えることで、カキ養殖生産者の漁業所得安定・向上に寄与していく。 | | | |